



連載 レッスンのお悩み、一緒に考えます！

聞いて！まるみえ先生

ほこあほこピアノ教室主宰 中西美江

今回のお悩みは…

「音符と休符が覚えられない生徒さん」

お悩み内容

入会から4、5年経った小学生の生徒さんが、音符と休符の名前と長さを覚えられませんが、ノートに書く、ドリルで学ぶ、度々質問する、音価の長い音符から分割して書いてみるなどあらゆる方法を試しましたが、その週は理解できても、一週間経つと忘れてしまいます。近々筆記テストをしようとしています、本人が自信を失いそうで怖いです。（Y. F先生）

音符・休符の名前と長さは中々覚えられないものですね。私の教室では、レッスン内でなるべく音符・休符の名前を口に出して言うようにしたり、生徒さんに質問したり、「自分の名前を間違えられたり、違う漢字を書かれたら絶対イヤだよ、だから音符の名前もちゃんと覚えて書けるようになるうね」とお声がけします。

それでは、実際のレッスン例をご紹介します。

【基礎編】

音符・休符の名前ですが、これから練習する曲の音符を全て書き出して、名前を書いてもらったり、長さの確認をします。生徒さんの5線ノートに書いてもらう場合もあれば、練習曲のページに直接書く時もあります。毎回、毎回します。習慣にしています。

【実践編】

8小節ほどの短い曲をノートに作ります（譜例1）。4拍子・4分音符で、ド～ソまでの音程を生徒さんを選んでもらい、適当に並べます。

譜例



【レッスンの進め方】

①音を読みながら先生が指定した音で手を叩く

（4分音符の理解）ドのときに手を叩いてね！



②先生が指定した音では発声しない

（4分休符の理解）レの音は声を出さないでね



③指定の音を倍の速さで2回言う（8分音符の理解）

ミの音はほかの音の倍の速さで2回言ってね

※この時、音に合わせて手をたたいたり、連符の先頭にだけ手をたたくと4分音符の感覚を養えます



④指定音を2つ分伸ばすと休む（2分音符／休符の理解）

○をつけた音符は2つ分伸ばして、そのあと2つ分休んでね



⑤指定音を4つ分伸ばすと休む（全音符／休符の理解）

○をつけた音符は4つ分伸ばして、そのあと4つ分休んでね



生徒さん自身に音を指定してもらおうと、ゲーム感覚になり、失敗しても深刻にならずに集中してレッスンを進めることができます。さらに、音価や拍子を変えて練習すると・・・果てしなく練習メニューが増えるのです。

音符・休符の音価を身体で実際に感じられるレッスンをすることで、生徒さんも楽しくリズムや拍子を習得できているように感じていますので、ぜひレッスンで取り入れてくださったらと思います。

●中西美江（なかにし・みえ）プロフィール

奈良・新大宮ほこあほこピアノ教室主宰。生徒さんの目の前で書くレッスンをして30年。ポピュラー、ジャズなどを取り入れた独自のカリキュラムでレッスンを行う。

「マイピアノ楽譜」「教室運営法」「体験レッスン成功法」「続けることのできるレッスン法」をテーマに、各地で講座開催中。

中西美江の
まるみえピアノ
レッスン
ホームページ⇒



聞いて！
まるみえ先生
お悩み受付
フォーム⇒

